

様式第 4 号

議事録又は議事概要

会 議 名	美浦村社会教育委員会議兼公民館運営審議会
開 催 日 時	令和 2 年 1 0 月 9 日 (金) 午後 1 時 3 0 分
開 催 場 所	美浦村中央公民館 2 階 会議室
議 題	(1) 次年度事業 (2) その他
公開・非公開の別	公開
傍聴人定数・傍聴人数	傍聴人定数 6 名・傍聴人数 0 名
審 議 内 容	<p>◎は意見。Qは質問。Aは回答又は結論。</p> <p>(1) 次年度事業について</p> <p>◆担当者説明主旨</p> <p>「0歳から90歳までの社会力づくり(学習主題の共通化)」を新規事業として提案。また、次年度事業計画について当事業を反映させた事業及びそれ以外の見直し事業について説明。</p> <p>【新規】</p> <p><u>生涯学習活動推進</u></p> <p>0歳から90歳までの社会力づくり(学習主題の共通化)</p> <p>次年度学習主題: 防災学習</p> <p>※ノーテレビ・ノーゲーム運動代替事業</p> <p>【廃止】</p> <p><u>青少年育成</u></p> <p>ノーテレビ・ノーゲーム運動</p> <p>【見直し事業】</p> <p><u>青少年教育</u></p> <p>ジュニア・アカデミー(少年教室) ユース・リーダー</p> <p><u>成人教育・地域育成</u></p> <p>いきいきミセス講座(女性学級) 美浦大学(高齢者学級) 美浦大学院(高齢者学級) 自然観察会 あったか家庭塾(家庭教育学級) 花いっぱい運動コンクール</p> <p><u>公民館事業</u></p> <p>みほ文化講座 ”みほ”産業文化・スポーツフェスティバル 文化振興</p> <p><u>図書事業</u></p> <p>読書週間イベント</p>

※うち学習主題の共通化対象事業は以下のとおり

青少年教育

ジュニア・アカデミー（少年教室） ユース・リーダー

成人教育・地域育成

いきいきミセス講座（女性学級） 美浦大学（高齢者学級） 美浦大学
院（高齢者学級） 自然観察会 あったか家庭塾（家庭教育学級）

公民館事業

みほ文化講座

図書事業

読書週間イベント

【あったか家庭塾】

Q. 当事業の対象者拡大について申し込み部分の組織イメージを伺いたい。

A. 現在の申込は当課となっており問題はない。

Q. 保育所幼稚園等に所属していない方への周知について伺いたい。

A. 保育所幼稚園及び村内各学校経由によるチラシ配付に加え、広報やホームページ掲載、子育て支援センターでのリーフレット設置で対応している。

Q. 乳幼児健診等を実施している保健センターにおいても有効と考えられるかどうか。

A. 従来の周知方法に加え保健センターにも掲示という形で周知を行っている。

【ノーテレビ・ノーゲーム運動】

Q. 事業廃止とあるが、各小中学校で取り組みを継承していく予定はあるのか。

A. 事業の廃止について、開始から10年経過しているので区切りを持たせた。また、新型コロナウイルス感染症の影響により各学校で一人にタブレット一台を目指す状況等、生活形態が従来の事業で目指してきたものと変化したこともあり廃止とした。

学校毎の取り組みについて、夏休み等の長期休暇時には生徒には生活予定表を作成させているので、事業で行ってきた目的は充分達成できていると考えている。

Q. 講演会の廃止は理解できたが、今後どのように目的の推進をしていくのか。チャレンジシート等各学校での取り組みを子どもたちの負担にならない程度に残せないか。

A. いままで実施してきた中で成果もあり引き続き実施したほうがよい部分もあると考えるが、事業全体について、教育長の立場として教員の負担と子どもの負担の両方を考えなければならない。教員の働き方改革を取り入

れながら、これまでの事業を一つ一つ見直ししなければならない。チャレンジシートについては、学習生活スケジュール表（先の生活予定表）により子どもたち自身が充分対応できると考える。「やらなければ」ではなく、どのように子どもたち自身に計画を立てさせ生活させるのか、親がどう関わるのかを「やれる方法」で見直ししていきたいと思っている。

◎一番大切なのは子どもだと思っている。先生側からも常に子どもを見ていたいという話を聞くが、同時に先生の一番の負担は文科省から降りてくる業務や規制、その他多量の書類の作成や確認等だと聞いている。これら先生の負担に目を向け、子どもと関わる時間を確保できるように改革していただけるようお願いしたい。

A. 教師が子どもと遊んだり談笑する等、向き合う時間を確保していきたい。村事業としてやらなければならないこともあるが、まずは子どもたちとどう関わるかが教員の使命であるので重々考え対応していきたい。ノーテレビ・ノーゲーム運動については見直しを行った結果である。

【美浦大学・美浦大学院・文化講座】

Q. 次年度事業の見直しについて伺いたい。

A. 学習主題の共通化を適用し学習テーマに沿った内容を1回以上組込むものと、新型コロナウイルス感染症の影響で従来のバスを終日使用する移動学習の継続が難しくなったため、村内及び近隣の自然や歴史を学ぶ座学や現地視察による計画見直しをした。

Q. 学習テーマの防災について学習内容を具体的に伺いたい。

A. 座学や自然災害学習での現地視察、体験を想定している。

Q. 次年度計画の移動学習の有無と募集定員について伺いたい。

A. 新型コロナウイルス感染症に対する講師と受講生の安全確保の観点から減としたが移動学習は撤廃ではない。募集定員は今後の感染症の状況により1/2を目安に減することもある。

Q. 美浦大学と美浦大学院で計画内容が同じようだがありえないと思う。

A. 同じ高齢者学級であるため向く方向は同じであると認識している。カリキュラムで細部を変えていく。内容について、今回の新型コロナウイルス感染症の影響で主な移動手段であるバス利用への対応が難しく今年度事業を全て見合わせた経緯がある。このため、座学を取り入れる等の事業見直しを行った。また、これから定年を迎える世代に対する地元を見直す機会や学習テーマに沿った防災を組み込む等、年代にあった学習内容を計画していく。

Q. 今年度予定していた大学院はボランティア学習を主軸としていたが、受講生の年齢的に難しいのでは。（結果として）「リーダー」ばかりになってもしょがないが、「動く側」とするなら年齢的に酷だと思う。大学は広く浅く研修を行い、大学院は専門的なものをテーマに計画する方が大学院

	<p>を設置した意味があると考え。</p> <p>A. 事務局は検討してください。</p> <p>A. 事務局了承。</p> <p>【文化講座】</p> <p>Q. 文化講座や同好会の活動人数について現在の状況を伺いたい。</p> <p>A. 今年度後期文化講座は受講者数の上限を10人とした。</p> <p>【文化祭】</p> <p>Q. 次年度の文化祭の規模及び見直しの手法について伺いたい。</p> <p>A. 会場である公民館、役場、ふれ愛プラザ、光と風の丘公園を全て生涯学習課が受け持っているが、公民館と他会場が離れていることで目が届きにくい。このため、各会場に実働の中心となる主担当者の配置という見直しを行った。文化祭実行委員会この部分を明確にするイメージである。文化祭の規模については実行委員会での決定となる。</p> <p>次年度事業について委員了承</p>
<p>そ の 他</p>	<p>(2) その他</p> <p>◎例年10月開催の第2回社会教育委員研修会(地区別)中止(事務連絡)</p> <p>【終活講座】</p> <p>Q. 近隣で終活講座を取り上げ始めたこともあり、事務局で講座を検討している。このことについてお諮りしたい。</p> <p>A. 人それぞれの考えがあると思うが興味のある人は来ると思う。他市町村の意向を見ながら実施してみてもは。</p> <p>A. 講座という他の視点から学ぶことはよいことだと思う。</p> <p>【近隣市町村の受講者募集講座資料配付】</p> <p>◎各委員からも講座企画について意見を賜りたくお願いいたします。</p> <p>その他について委員了承</p>
<p>問 合 せ 先</p>	<p>美浦村教育委員会 生涯学習課 電話 029-885-4451 担当 田崎</p>